



日光市観光協会 マーケティングレポート

2026日光市 訪日外国人観光客分析 6月

2026年8月作成

1

SUMMARY | 6月

入込数

44,173人
前年比 141.3%

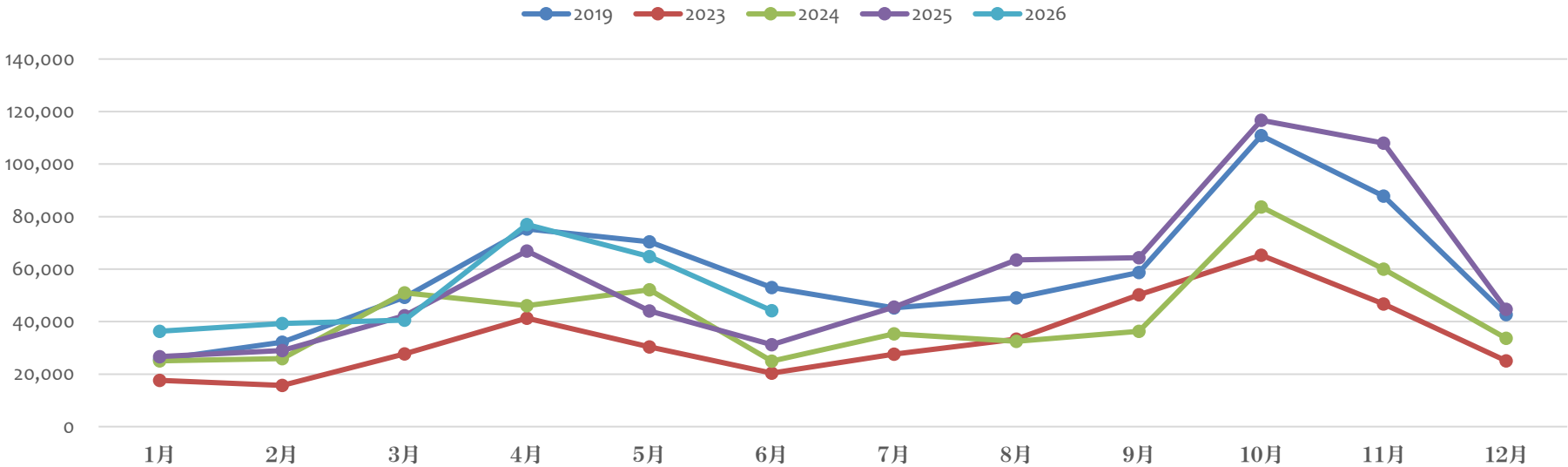
日帰り客

28,801人
前年比 157.6%

宿泊客

15,372人
前年比 118.4%

訪日光外客数月別推移（2019、2023～2026年）



2 月間推移

前年同月比較詳細

カテゴリー	2026年6月	2025年6月	前年比（%）
入込数 (全体)	44,173人	31,259人	141.3%
日帰り客数	28,801人	18,271人	157.6%
宿泊客数	15,372人	12,988人	118.4%
全国訪日外客数	3,148,600人	3,377,985人	93.2%

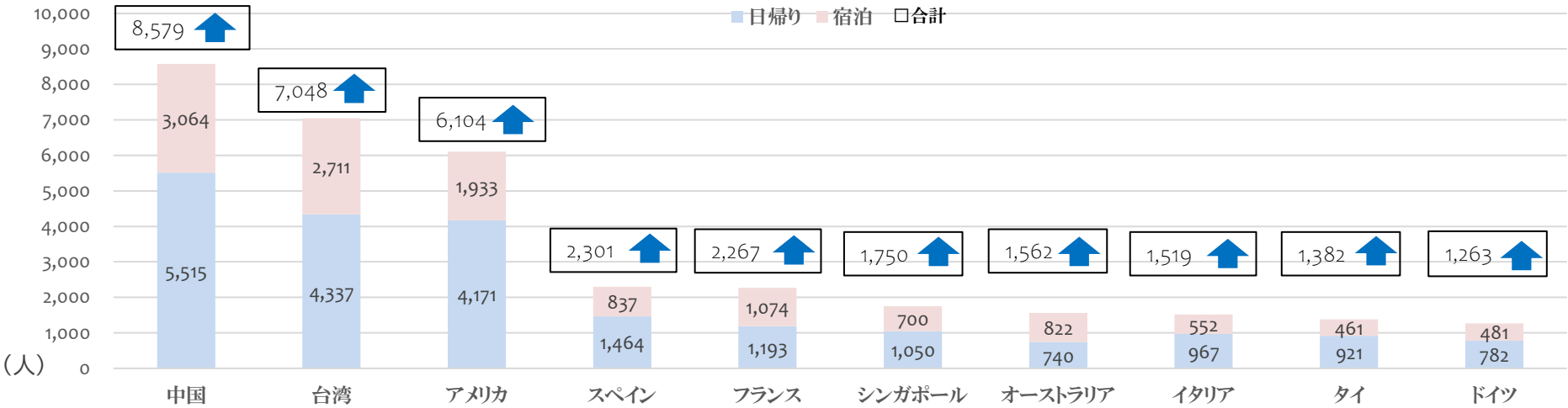
2026年6月の日本全体の訪日外客数は、5月に続き夏休みまでの閑散期であり、一部市場での航空便減便や悪天候（台風等）による欠航、さらに中国市場の大幅な低迷（前年同月比57.3%減）なども響き、前年同月比93.2%（3,148,600人・前年同月比6.8%減）と前年を下回った。一方で、日光市の総入込数は44,173人。前年比141.3%と大幅なプラス成長を記録した。全国的な需要の落ち込み局面においても、日光市は極めて強い地方送客機能を発揮している。内訳を見ると、日帰り客数が28,801人（前年比157.6%）、宿泊客数が15,372人（前年比118.4%）となった。宿泊需要も着実に伸びているものの、伸び幅においては日帰りが宿泊を大きく上回る。首都圏からのアクセスの良さを背景とした「日帰り周遊化（通過型観光）」の加速は、観光消費額の最大化を目指すうえで引き続き最重点課題である。

3

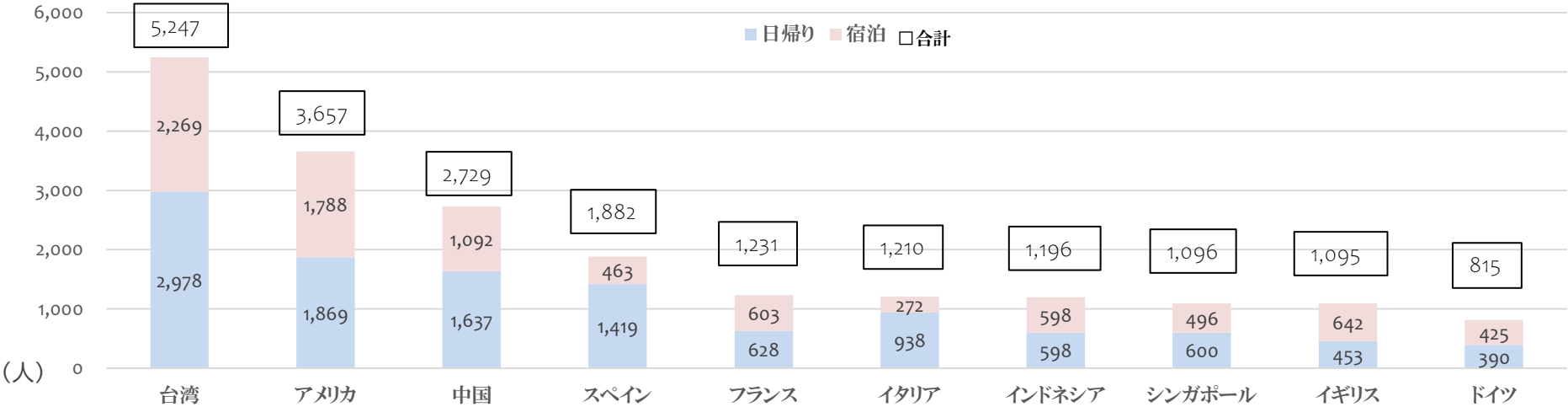
国籍別動向

(1) 全体

2026年6月



2025年6月

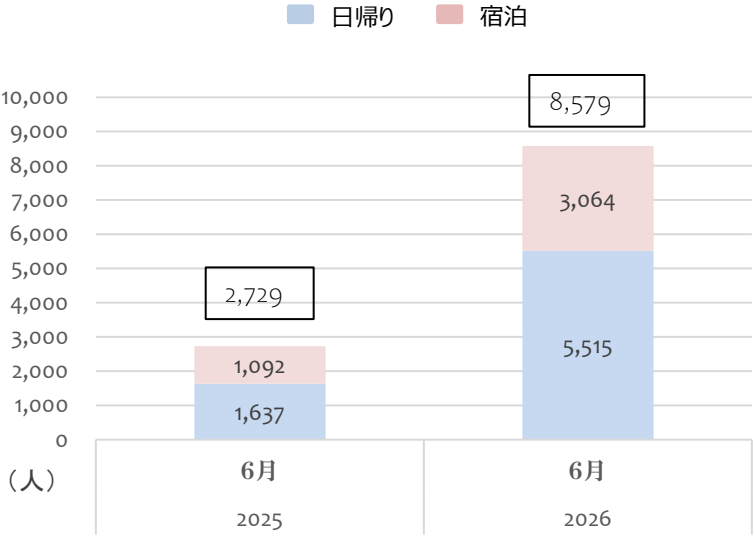


(2) 国籍別 日帰り・宿泊数

1位 中国



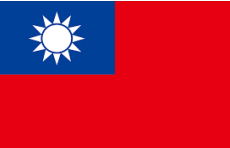
8,579人
前年比 314.4%
全国動向 (JNTO)
340,700人
前年比 42.7%
全国シェア 2.5%



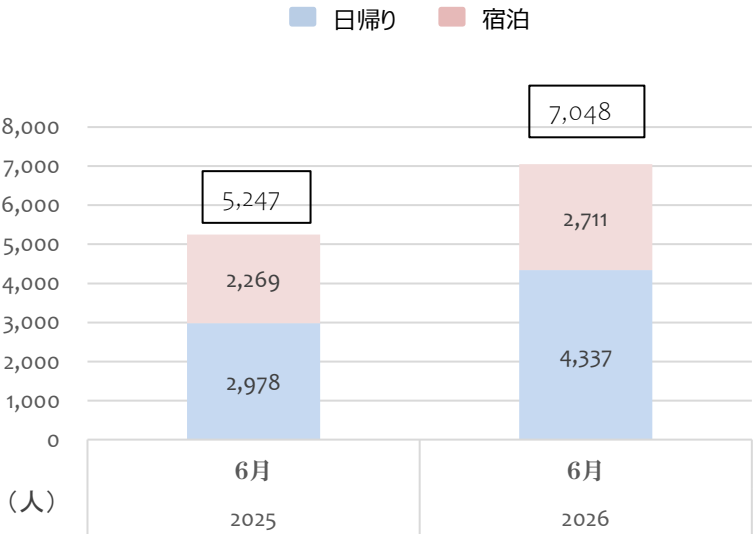
全国低迷を横目に3倍超の急伸、日帰り主導からの脱却が鍵

全国動向（前年比42.7%）が低迷する中、日光市は8,579人（前年比314.4%）と爆発的に増加した。宿泊数も3,064人と順調だが、全体の約64%を日帰りが占めている。都心からの利便性で誘客できた一方、今後は高単価な夜間消費や滞在型プランによる宿泊化への転換が急務か。

2位 台湾



7,048人
前年比 134.3%
全国動向 (JNTO)
670,400人
前年比 114.6%
全国シェア 1.1%



全国とともに堅調推移、7千人突破も通過型化への対応が急務

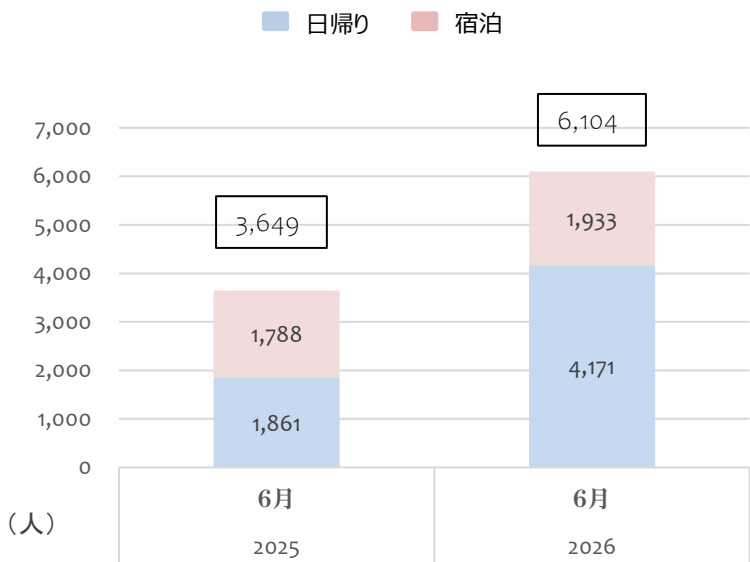
全国的な拡大（前年比114.6%）に歩調を合わせ、日光市も7,048人（前年比134.3%）と順調に成長した。宿泊客（2,711人）も伸びているが、日帰り客が約6割を占めている。リピーター層やFIT需要が強い市場なだけに、奥日光への誘引や体験プログラム拡充による滞在延伸が鍵か。

(2) 国籍別 日帰り・宿泊数

3位 アメリカ



6,104人
前年比 167.3%
全国動向 (JNTO)
354,500人
前年比 102.7%
全国シェア 1.7%



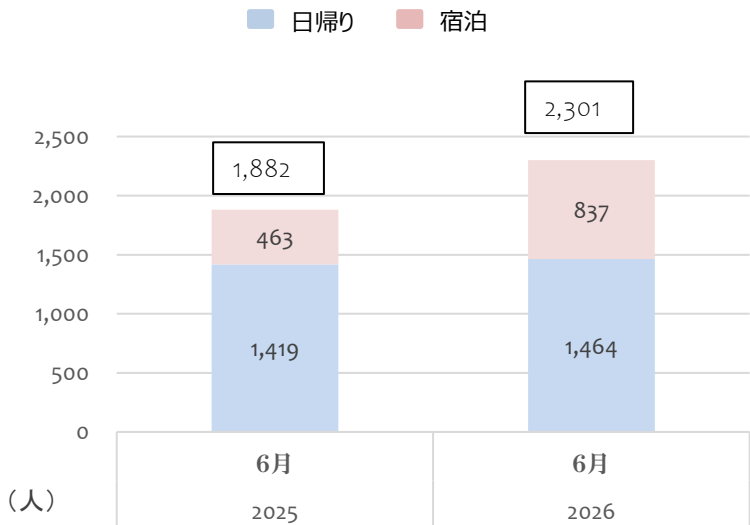
全国の伸びを凌駕し急増、日帰り偏重から奥日光への周遊促進へ

全国動向（前年比102.7%）が横ばい圏の中、日光市は6,104人（前年比167.3%）と大幅に伸長した。宿泊数（1,933人）も堅調だが、日帰り客が4,171人と約68%を占めている。自然や文化への関心が高い市場特性を踏まえ、奥日光等への誘引による滞在時間延長と宿泊化の推進が求められる。

4位 スペイン



2,301人
前年比 122.3%
全国動向 (JNTO)
20,500人
前年比 112.9%
全国シェア 11.2%



全国を上回る堅調な伸び、高水準の宿泊比率を活かした体験強化を！

全国動向（前年比112.9%）を上回り、日光市は2,301人（前年比122.3%）と堅調に拡大した。宿泊数は837人と全体の約36%を占め、他国と比べて比較的高い宿泊水準を維持している。文化・歴史体験を好む欧州層に向け、夜間コンテンツや上質なガイドツアーの拡充でさらなる連泊を狙えるか。

(2) 国籍別 日帰り・宿泊数

5位 フランス



2,267人

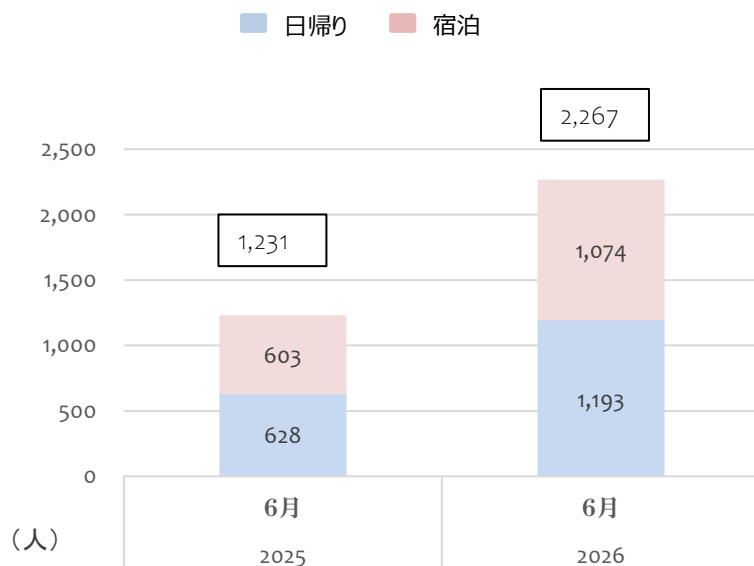
前年比 184.2%

全国動向 (JNTO)

28,100人

前年比 103.7%

全国シェア 8.1%



約1.8倍の急増、高い宿泊比率を背景とした更なる連泊推進へ

全国動向（前年比103.7%）を大きく超え、日光市は2,267人（前年比184.2%）と急増。宿泊数は1,074人と全体の約47.4%を占め、主要国の中で極めて高い宿泊水準を維持している。歴史や自然体験を深く好むFIT層に向け、長期滞在を促すコンテンツや受け入れ環境の整備がより一層効果を発揮するか。

6位 シンガポール



1,750人

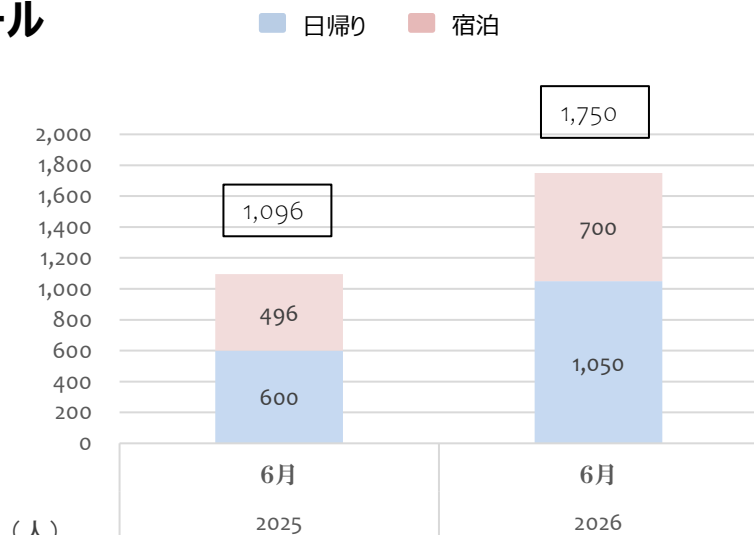
前年比 159.7%

全国動向 (JNTO)

68,400人

前年比 99.7%

全国シェア 2.6%



全国前年割れをよそに1.6倍へ躍進、高単価層の連泊化が焦点

全国動向（前年比99.7%）が微減となる中、日光市は1,750人（前年比159.7%）と大躍進を遂げた。宿泊数（700人）も前年から着実に増加したものの、日帰り客（1,050人）の急増により宿泊比率は約40%へ低下している。高所得者層が多い市場特性を活かし、ラグジュアリーな体験と連泊化の推進が鍵となるか。



【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、一般社団法人日光市観光協会の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当協会までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
- 本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまの判断で利用してください。



日光市観光協会

一般社団法人日光市観光協会

（本部）

〒321-1261 栃木県日光市今市717-1
道の駅日光 日光街道二コニコ本陣 観光情報館
電話：0288-22-1525 （代表）